

## 気仙沼市立階上中学校の防災学習の授業で講演しました(2019/5/15)

テーマ：防災教育，津波避難，社会調査  
場所：気仙沼市立階上中学校（気仙沼市）

5月15日（水）に，気仙沼市立階上中学校にて同校の「防災学習」の授業が行われ，当研究所の佐藤翔輔准教授（情報管理・社会連携部門）が講話を行いました。階上中学校では，東日本大震災は発生する前から，熱心に防災教育に取り組んでおり，2017年以降は，当研究所で防災学習のカリキュラムを支援しています。同校では，2017年度に2016年11月22日福島県沖地震津波における住民の避難行動に関するアンケート調査，2018年に2011年東日本大震災における住民の避難行動に関するアンケート調査を「生徒さんが地域住民」に行うという大変珍しい取り組みを実施してきました。今年度（2019年度）は，アンケート調査ではなく，生徒さんが地域住民から，あの日からの体験を聞き，記録集にまとめて，教訓を学ぶ，といういわゆる聞き取り調査を実施することになりました。

佐藤翔輔准教授からは，聞き取り調査の意義・優れていること，その具体的なやり方やコツについて講話しました。その後，「練習」として，グループに別れて，学校の先生方に当時の体験の話しを聞く機会が設けられました。練習を始める前は，生徒さんも，先生方も，やや不安そうでしたが，ひとたび始まってしまえば，生徒さんの話しを聞く真剣な眼差し，とまらないメモ書き，と「練習」ではありましたが，とても有意義な回となりました。今後，生徒さんたちが1年かけて，地域のみなさんに，その日の体験を聞き取り，記録をつむぐ防災教育が行われます。この授業には，1～3年生の全生徒・約120名が参加しました。



講話の様子（佐藤翔輔准教授）



聞き取り調査の練習の様子（1）



聞き取り調査の練習の様子（2）



聞き取り調査の練習の様子（3）